

漸化式演習 4.3項間漸化式

① [2000 同志社大]

漸化式 $a_{n+2} = 3a_{n+1} - 2a_n$ ($n \geq 1$), $a_1 = 3$, $a_2 = 5$ により定義される数列 $\{a_n\}$ について次の問いに答えよ。

(1) 数列 $\{a_n\}$ に関する漸化式は

$$a_{n+2} - qa_{n+1} = p(a_{n+1} - qa_n)$$

と変形できる。 p, q ($p > q$) の値を求めよ。

(2) (1) を用いて、数列 $\{a_n\}$ の第 n 項を求めよ。

(3) 数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和 S_n を求めよ。

② [2003 宮城教育大]

数列 $\{a_n\}$ を漸化式

$$a_1 = 1, a_2 = 2, a_{n+2} = 2a_{n+1} + a_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

により定める。

(1) $a_{n+2} - pa_{n+1} = q(a_{n+1} - pa_n)$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) が成り立つような定数 p, q ($p < q$) の値を求めよ。

(2) 数列 $\{c_n\}, \{d_n\}$ を $c_n = a_{n+1} - pa_n, d_n = a_{n+1} - qa_n$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) により定めたとき、一般項 c_n, d_n を n を用いて表せ。

(3) 数列 $\{a_n\}$ の一般項 a_n を n を用いて表せ。

③ [京都薬科大]

α, β ($\alpha > \beta$) を $x^2 - x - 1 = 0$ の 2 つの相異なる実数解とすると、 A, B を定数とし

$$a_n = A\alpha^n + B\beta^n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

で定義された数列 $\{a_n\}$ について

(1) この漸化式が $a_{n+2} = a_{n+1} + a_n$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) を満足することを証明せよ。

(2) $a_1 = 0, a_2 = 1$ のとき、一般項 a_n を求めよ。

④ [2008 室蘭工業大]

数列 $\{a_n\}$ が次の条件を満たすとする。

$$a_1 = 1, a_2 = 6, a_{n+2} = 6a_{n+1} - 9a_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

(1) $b_n = a_{n+1} - 3a_n$ とおくと、数列 $\{b_n\}$ の一般項を求めよ。

(2) 数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

⑤ [2013 山梨大]

$a_1 = 1, a_2 = 2, a_{n+2} - 2a_{n+1} + a_n = 1$ で定められる数列 $\{a_n\}$ の一般項 a_n を求めよ。